

「東京都観光産業振興実行プラン（案）」に対する意見募集の結果

東京都は、令和5年12月21日（木）に「東京都観光産業振興実行プラン（案）」を発表し、東京都ホームページへの掲載等を通じて、広く都民の皆様のご意見を募集しました。貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。

ここでは、お寄せいただいたご意見の概要と、それに対する東京都の考え方を紹介させていただきます。

1 意見募集の期間と件数

(1) 募集期間

令和5年12月21日（木）から令和6年1月19日（金）まで

(2) 意見件数

9件

2 ご意見と東京都の考え方

ご意見（概要）	東京都の考え方
それ以上、東京に観光客を増やす計画をやめてほしい。	観光は、経済の活性化や異文化交流の促進に貢献するものであり、観光の持続可能性を確保しながら観光振興を進めてまいります。
各界で活躍する人々＝人財が、国・地域を超えて交流し、社会的価値の創出に協業することが、人々の生活を豊かにし、文化・経済の活性化をもたらす。そのため、海外と日本の人財が出会う場としての東京を創っていくことが有効ではないか。具体的な施策として、ビジネスイベントの創出、海外で活躍する日本人の活用、各領域の人財の訪都や都内活動の支援などが考えられる。	MICE誘致等を通じた都市のプレゼンス向上や、発信力のある人物を活用したプロモーションなどに引き続き取り組んでまいります。
パリやニューヨークなど人財が集まる都市とのタイアップ等により、人財都市としての地位を確立すべき。	都はこれまで、パリやニューヨークなどと相互の観光PRに取り組んでおり、引き続き、世界有数の観光都市とこうした連携を深めてまいります。
国際会議の誘致には幕張メッセとの協力が必要と考える。京葉線の快速列車減少の動きがあり、アクセスが悪化しないようJRに働きかけてほしい。	引き続き、都におけるMICEの誘致・開催支援等を推進してまいります。いただいたご意見は、関係自治体等にもお伝えします。
観光施設の経営を若い世代に継承していくことが重要になると思う。	観光経営人材の育成の支援に引き続き取り組んでいくほか、観光の仕事のやりがいや魅力を伝えるイベントの開催や職場見学会等の実施により、就業意欲を喚起し、観光産業を担う人材の確保を支援してまいります。
観光需要に応えるためには、セクターを超えた人材の移動を図ることが重要。	
グローバルな決済手段であるクレジットカードのタッチ決済の導入を交通機関や小規模飲食店などで推進してほしい。	観光関連事業者のインバウンド対応力強化に向けて、キャッシュレス対応をはじめとする取組を、引き続きサポートしてまいります。
観光客の受入れ先として、都心と、自然豊かな多摩西部・島しょ地域が想定されているが、国分寺のようなベッドタウンにも着目してほしい。観光資源の乏しい地域では、「人」やその活動から生まれる交流が新たな観光コンテンツになり得る。また、民間施設の誘導策も必要だと思う。	地域のニーズを丁寧に把握しながら、引き続き、観光協会など地域が主体となって取り組む観光まちづくりを多面的に支援してまいります。
地域住民のくらしを守るため、トコジラミが宿泊施設や交通機関に拡散しないよう対策してほしい。	都では、トコジラミ対策について旅館業営業施設の施設管理者向けの普及啓発を行っております。